

調布市は、令和 7 年 4 月 1 日に市制施行 70 周年を迎えました

ちゅうぶ。

CONTENTS(主な内容)

パラアート展2025.....	3
令和8年4月に小・中学校に入学する方へ	5
ちょうふ彩咲祭	9
ゲゲゲ忌2025	10
第40回調布花火	16

レバ、国勢調査!

インターネットで
かんたん便利に!

**かんたん
ログイン**

所要時間
5-10分※

ボクも対象?!

日本に住む
すべての人が
対象



国勢調査 2025

国勢調査にご協力ください



5年に1度の「国勢調査」が全国一斉に始まります

9月20日(土)～30日(火)に調査書類をお届けします。

回答期間中にインターネットまたは郵送での回答をお願いします。

回答期間▶ **9月20日(土)～10月8日(水)**

詳細は2面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹
470

長い人生を考えれば

8月25日、愛知県豊明市とよあけで、市がスマートフォンなどの使用に関する条例案を市議会に提出した。

同条例案の要旨は、スマートフォンなどの長時間使用が、睡眠不足などの健康面だけでなく家族の会話減少など家庭環境にも悪影響を及ぼすおそれがあるため、すべての市民と市内の学校に通う18歳未満の子どものスマートフォンなどの使用を1日2時間以内を目安とするよう促すというものだ。

これを聞いて、私は直感的に豊明市は全国的な議論展開を企図したなと思った。日常生活の過ごし方について行政が差し出がましい規制を設けることに批判があることは当然であるし、そもそもこの規制が実効を上げるとは極めて難しい。それらの反論をもとより予期した上でスマートフォン使用のさまざまな問題点に関する世論の喚起を図ったとすれば、所期の目的はすでに達成されたと言える。

そして、敢えてその論争に参戦するとすれば、私の最大の関心事項は以前にも指摘した子どもたちの視力問題だ。

文部科学省の調査によれば、裸眼視力1.0未満の子どもの割合を1978年と2023年と比較すると、小学生が16%から38%、中学生が34%から61%に急増している。その大きな要因がスマートフォンなどの長時間使用だとすれば、社会全体でなんとかは正していかなければならない。その後の長い彼らの人生を考えれば。

調市市長
校友貴樹

